

東京丸の内クラブ 第11回定例会 議事録  
2017年12月6日分

1 開催概要

日時： 2017年12月6日（水） 11:45～13:30  
場所： センチュリーコート丸の内 アーカンサスノースルーム

2 参加者（参加者名簿参照）

国際ロータリー第2580地区より	7名
ゲスト参加者	1名
東京丸の内クラブ	14名（うち事務局1名）
合計	22名

3 議事内容（司会進行：朴善子）

(1) 議長挨拶（尾崎由比子）

東京丸の内クラブには、ロータリークラブの奉仕活動にご興味をお持ちの方が多い。そこで今日は各々現在携わっている活動や、今後やってみたい奉仕活動についてお話いただき、後にテーブルごとでディスカッションとしたい。

(2) 東京丸の内クラブメンバーおよびゲストの方自己紹介（参加者名簿参照）

奉仕活動についての発言の例

- ・小学校などで障がい者自らが障がいについて語る活動をしている
- ・大学のアントレプレナーシップを養うプログラムの審査員をしている
- ・労使紛争をなくし、100年続く企業を育てたい
- ・青年会議所でわんぱく相撲や地域清掃、NPOで各種コミュニティー
- ・パキスタンの女の子の支援
- ・内閣府「心のバリアフリー」審議会の委員の経験を活かしたい
- ・クリエイティブな仕事の理解を深めるようなセミナーを開催している
- ・海外からの来訪者や子供の役に立てるような奉仕活動をしてみたい
- ・情報を発信する立場としてお役に立てることをしてみたい

(3) 第2580地区からのゲストのお話

▼ 上山昭治直前ガバナー、拡大増強委員長

奉仕というと社会奉仕と思われるが、ロータリーの職業奉仕という考え方では、「自分の仕事を一生懸命行うことそのものが奉仕」。所属する武蔵野中央ロータリークラブでは、障がいのあるお子さんを招待して、親子でサッカー観戦をしてもらったり、気仙沼の仕事創出プロジェクトとして、海産物を購入したりしている。

▼ 吉田健二地区研修リーダー、パストガバナー

ロータリークラブに入会して43年経つ。楽しいからこそ続いたのだと思う。ロータリーの精神とは①相手と出会うことによって自己の研鑽を積む、②自分が得たものを伝えていく、後進を育てていく、③相手を重んじる気持ちを大切にする。この③が Service すなわち奉仕、思いやり。自分は自動車の仕事をしてきたが、ロータリーでは違う経営の勉強をさせてもらえたとし、逆に自分の仕事の分野をいかに相手に生かすか、を考えてきた。ロータリーは出会いをくれる、このチャンスをいかに生かすかだと思う。

▼ 鈴木孝雄パストガバナー

36年前、初めてロータリーに入会したころ、新聞記者が当時の中国情勢について語っていた。専門外のお話を聞けることに魅力を感じた。ロータリーは宗教ではないので、自分を犠牲にしなくてよい。仕事を一生懸命やってよい。利益も上げてよい。そのうえで世の中のために何か出来ないか、というのがロータリーの奉仕。私の所属する池袋 RC では周年行事のたびに地域のために何かできないか、と地元小学校の校長や教育長とやりとりをしている。40周年にはネイティブスピーカーによる英語の出張授業、50周年には環境教育としてビオトープを寄付した。60周年に向けて、地域愛、郷土愛を培うようなプロジェクトを計画中である。

▼ 土居岩生研修サブリーダー

ロータリークラブはアメリカ発祥なので、原文は英語。奉仕とは Service のことで、ロータリーを日本に持ち込んだ米山梅吉氏は「サービス」という言い方をしていた。ロータリーが目指しているのは最終的には世界平和。まずは小さいところからやろう、というのが奉仕。

地区の人達がクラブの定例会に来て応援するというのは、今までにないこと。このクラブを日本一のクラブにしようという思いからそうしている。ロータリークラブとして登録する納期が近づいている。何とか20人の会員を確保して登録申請に漕ぎつけて欲しい。

▼ 鈴木隆雄研修サブリーダー

ロータリークラブの奉仕活動には、国際奉仕、社会奉仕、青少年奉仕がある。江東 RC では、少年野球に支援をしている。奉仕には単年度で終わるものと長期にわたるものがある。寄付を行うと次の年も期待されることを考えておかないといけない。会員の中からいろいろな意見を出してもらって方針を立てるとよい。

▼ 横山義文地区立法案検討委員会委員（東京北 RC）

私は 1990 年に東京北 RC に入会した。東京北 RC は、ピーク時は会員 178 名、現在は 107 名在籍しており、年長者が多い。このように大きなクラブになると、奉仕活動は周年行事に向けて企画するパターンが多い。当クラブでは 60 周年の時にタイにチェックダム（小型堰）を 2 年半かけて 1000 個造成した。東京北 RC からは 200 万円、あとは地区からの補助金で賄った。

▼ 佐藤文則地区立法案検討委員会委員（東京四谷 RC）

私の所属する東京四谷 RC は地域に密着した奉仕活動をしている。地元四谷中学校への出前授業や、DV で家庭にいられない子供を預かる二葉乳児院への訪問、紙おむつの寄付をしている。また、フジテレビ、文化放送の移転により寂しくなった荒木町商店街を活性化させる活動もしている。地元には町内会がたくさんあり、その橋渡し役も担っている。また、東日本大震災以降、福島県相馬市の子供たちへの支援も行っている。

来る 2018 年 2 月 20 日(火)、21 日(水)には第 2580 地区の地区大会が京王プラザホテルにて開催される。私はその実行委員長を務めている。皆さんにもぜひ参加して欲しい。

(4) 事務連絡

- ・ 会員の青木さんは弱視のため、今後定例会に付き添いが同行することをご了承ください。
- ・ 事務局より来週中に入会申込書および誓約書を皆さんのメールアドレスに送信しますので、ご確認ください。

以 上